

インターバンクの声（2015年10月22日）

日経平均が前日の終値から2%近く上昇して引けたものの、上海総合指数は3%以上も値下がりした。東京時間に、後からオープンする上海株が下げ始めると影響されて日経平均も下げることが多かったが、ここ最近是个別の動きを見せるようになった。為替でも上海株が下がれば、ロンドン市場ではユーロが下落傾向になる頻度が高かったが、昨晚は反応が鈍かった。もっとも、翌日に欧州中央銀行（ECB）理事会が控えていることも影響していたと思われるが、今晚、政策変更がなければ来週の米連邦公開市場委員会（FOMC）まで動きのないユーロ相場が続きそうだ。ドル円も一時は円高方向に動き出しそうな気配を感じて足許のスポット価格から遠くないストライク・プライスでのドル・プット購入が目立っていたが、それもここ数日は下火になってきた。ECB理事会、米FOMC、日銀会合と続く政策決定会合で何かが決まるかも知れないとの思いは皆同じだが、そろそろ新たな発表が何もなかった場合の対処も考えたほうが良さそうだ。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。